

daily コラム

2026 年 7 月 7 日 (火)

〒308-0842 茨城県筑西市一本松 624-3

税理士法人和敬会筑西事務所 TEL 0296-22-3689 FAX 0296-25-0627

Email tfc@wakei-kai.com

棚卸資産の取得価額 付随費用の配賦計算

商品の付随費用の取得価額への配賦計算

購入した棚卸資産の取得価額には、購入代価のほか、これを消費し又は販売の用に供するために直接要した全ての費用が含まれるのが原則です。では、種類などが異なる棚卸資産を取得した場合に共通する付随費用はどのような方法で配賦するのでしょうか。実務では、次のような方法を継続適用して、種類・品質・型等の異なるごとに、それぞれの棚卸資産に配賦します。

- (1) 購入代価の比で配賦
- (2) 購入数量の比その他の基準で配賦
- (3) 購入代価が大きなものみに配賦

<事例> 仕入商品

購入代価 1,000 千円 (12,500 個)

A 商品 @75 円	5,000 個 (数量 40%)	375 千円 (価格 37.5%)
B 商品 @100 円	5,000 個 (数量 40%)	500 千円 (価格 50%)
C 商品 @50 円	2,500 個 (数量 20%)	125 千円 (価格 12.5%)

共通する引取費用等 60 千円

引取費用 (運賃等)	20 千円
付随費用 (検収費等)	16 千円
移管費用 (支店への搬送費)	24 千円

(1) 購入代価の比で配賦

A 商品	$375 \text{ 千円} + 60 \text{ 千円} \times \text{価格 } 0.375$ = 397.5 千円
B 商品	$500 \text{ 千円} + 60 \text{ 千円} \times \text{価格 } 0.50$ = 530 千円
C 商品	$125 \text{ 千円} + 60 \text{ 千円} \times \text{価格 } 0.125$ = 132.5 千円

(2) 購入数量の比その他の基準で配賦

A 商品	$375 \text{ 千円} + 60 \text{ 千円} \times \text{数量 } 0.40$ = 399 千円
B 商品	$500 \text{ 千円} + 60 \text{ 千円} \times \text{数量 } 0.40$ = 524 千円
C 商品	$125 \text{ 千円} + 60 \text{ 千円} \times \text{数量 } 0.20$ = 137 千円

(1)、(2)とも付随費用と移管費用の合計額 40 千円は、購入代価の 3%超であるため、取得価額に算入します。

(3) 購入代価の大きなものだけに適当な基準により配賦 (小口不配賦)

A 商品	$375 \text{ 千円} + 60 \text{ 千円} \times 375 / 875$ = 400,714 円 (端数切捨て)
B 商品	$500 \text{ 千円} + 60 \text{ 千円} \times 500 / 875$ = 534,286 円 (端数切上げ)
C 商品	125 千円 (配賦なし)



会社に合った方法を継続して用いましょう。